

多様で魅力的なノウフクの取り組みを募集します。

# エントリー受付中!

【応募期間】  
2023年 8月28日(月)～10月20日(金)



みんな  
で耕そう!

ノウフクの取り組みを、表彰を通じて実践者を応援し、  
その価値を多くの人に知ってもらい、地域社会に根づかせるためのアワードです。

## 応募方法

応募用紙をノウフク・アワード2023募集サイトよりダウンロードし、必要事項を記入の上、  
サイトから直接アップロードして、ご応募ください。

## 応募対象

農林水産業で障害者等の多様な能力が発揮され、農林水産分野、福祉分野が抱える様々な課題の解決の実現を図ること  
に加え、障害者等の社会参画の実現、地域農業の維持・発展、更には地域活性化にも貢献している団体や企業、個人など

対象となる取り組み例

- ・農業経営体が障害者等を直接雇用している取組
  - ・社会福祉法人等が運営する障害福祉サービス事業所が自ら農業を行う取組、又は自ら生産した農産物等を使って加工食品の製造を行う取組
  - ・社会福祉法人等が農業法人を設立し、当該農業法人において障害者等が農業を行う取組
  - ・農業法人が障害福祉サービス事業所を設立し、当該事業所の障害者等がその農業法人の農場等で農業を行う取組
  - ・農業経営体と障害福祉サービス事業所が農作業に関する請負契約を締結して、障害者等が施設外就労で農作業等を行う取組
  - ・地域内又は近隣の市町村等の農業経営体や障害福祉サービス事業所と連携して、これらから農産物等を仕入れて、障害福祉サービス事業所等  
が加工食品の製造を行う取組
  - ・企業や協同組合などが自ら、又は特例子会社を設置して障害者等を雇用し、農業を行う取組
  - ・NPO法人等が中間支援組織となって、農業経営体と障害福祉サービス事業所とをマッチングさせ、障害福祉サービス事業所の障害者等が農業  
経営体に向いて農作業等を行う取組
  - ・地方公共団体等が支援して農福連携を行っている取組
  - ・その他、地域における農福連携の定着に向けた取組、障害者等の農林水産分野での活躍を見据えた取組、生活介護や放課後等デイサービス、  
高齢者の介護予防など福の広がりに関する取組等、未来につながる取組
- 詳細は、「ノウフク・アワード2023」実施要領をご参照ください。

## 選定の流れ

応募の中から、審査基準に基づき各賞を選定します。①グランプリ: 今回のアワードで優秀賞に選定されたもの、及びこれまでのノウフク・アワード  
において優秀賞以上を受賞し、今回のアワードにおいても応募があったものの中から最も優れた取組を選定します。②準グランプリ: 今回のアワード  
で優秀賞に選定されたものの中から審査基準における「人を耕す」、「地域を耕す」、「未来を耕す」のそれぞれの領域において特に優れているものを各  
1点選定します。③優秀賞: 取組主体別に「人を耕す」、「地域を耕す」、「未来を耕す」の3つの視点から審査を行い、総合的に優れた取組を数点選定  
します。④フレッシュ賞、チャレンジ賞: 優秀賞に達しないものの中から、(1)取組開始5年以内の団体等に対して、フレッシュ賞を、(2)高齢者や生活困  
窮者等との連携や、水福、林福、地域の伝統産業との連携など、新たな農福連携に取り組んでいる団体等について、チャレンジ賞を各数点選定します。

## 表彰式

表彰式は、各賞に選定された団体等を招いて、令和6年2月中旬頃に、東京都内の会場で開催します。  
表彰式と併せて、シンポジウム等の実施を予定しています。

## 審査委員

アワードの候補を適正かつ円滑に選定する、「ノウフク・アワード」審査委員



中嶋 康博  
東京大学大学院  
農学生命科学研究科 教授



濱田 健司  
東海大学 文理融合学部  
経営学科 教授



松森 果林  
ユニバーサルデザイン  
アドバイザー



村木 厚子  
津田塾大学 総合政策学部  
客員教授



米田 雅子  
東京工業大学  
環境・社会理工学院特任教授

## ノウフク

ノウフク・アワード 2023で受賞した取り組みは、農水省ホームページに掲載のほか、  
農福連携等応援コンソーシアムを通じてその会員や関係団体に情報発信されます。

ノウフク・アワード 2023  
応募はこちらから!

詳細情報・ご応募はノウフク・アワード 2023募集サイトまで

[noufuku.jp/award](https://noufuku.jp/award)

